



### 元藝妓が男と共謀し 各所で前借を踏倒す

#### 兩人が牒し合せて

#### 平町に潜伏中捕る

爲めとして家鼠驅除を奨励せんが爲め「鼠退治法」と題する宣傳ビラ數千枚を印刷し全町に是れを配附したといふ

#### 馴染を 重ねた同市

本所區柳町本町二一四縫田禮(三)の傀儡に依り本年二月十七日茨城縣土浦町宇川口町中たかと稱する料理店に前借百五十圓にて住込み

東京市小石川區戸崎町五四岡田マル子(三)は元東京市芝浦にて龍花と稱し藝妓を爲し居たる際

#### 各所を 轉々最近中

町に來り縫田は紺屋町にて人力輓子を爲し、マル子は材木町飲食店二葉家に潜伏

中土浦署よりの照會に依り平署の手依つて兩名を逮捕土浦署より引取りに出張し來つた刑事巡查に引渡した

### 湯本町で

#### 蠅と鼠を退治

#### 見付け次第に

石城郡湯本町にては町内の清潔を保つて保健衛生に資すべく先づ蠅群を退治する事が最も肝要であるを爲し來月中旬頃蠅の發生時期に際し是れが買上げを爲す由であるが一方傳染病豫防の

### 横須賀へ入團者

石城郡より横須賀海兵團に來る六月一日入團すべきは左記の如し

- △水兵、泉村佐藤金次、上遠野村平子銀之助、入遠野村平子銀之助、同小沼文、豊野村小宅又吉、同幕内軍次、高久村箱崎榮、豊岡村高木武幸、鹿島村荒川昇、小名濱町鈴木七郎、内郷村松本甚四郎、好間村伊藤昌榮、大野村佐藤秀興、下小川村小野忠仁、△機關兵泉村佐藤四萬男、渡邊村大友保、同鈴木留吉、同中村岳男、平窪村鹽田重、上遠野村長瀬重三郎、田人村林二

### 松崎の自動車

#### 今度は靴買へに

#### 松崎の自動車

よく故障ばかり起す平町才追小路松崎自動車部では作

晚七時半頃主人公の松崎安が自動車運轉中ハンドルが取り損つて同町仙臺屋靴店に飛び込ませぬ硝子戸四枚其他椅子等を滅茶々に破壊したか同人は無免許で運轉に従事した事發覺平署にて取調中

### 養兔の奨励

#### 子供の手にて

#### 上遠野で

石城郡上遠野村青年分團では此程同字一團に亘り養兔狀況の調査をなした結果全戸數百四十一戸中飼養戸數八十五總頭數四百五十九全戸數に對する一戸平均三、



金魚の飼ひ方 (其二)

街頭に「金魚え〜」の聲もなんとなく初夏近きを味はさせる。其こで一寸金

### 平局の簡保勧誘

#### 増額を機として大々的に

#### 局長も陣頭に起つ

逓信省にて取扱つてゐた從來の簡易保險は被保險者一人につき三百五十圓までとなつてゐたが利用上遺憾の點多々あるのを來月一日より四百五十圓に

改正した 其結果新加入者は從來よりも多額保險に加入するを得又加入者でも満六十歳に達せざる人は別口で從來の金額と合せ四百五十圓まで契約出来ることとなつた而して最近各金融業者 頻出し不

### 使へて貯金

#### 玉川屋の試み

#### 使へて貯金

平町紺屋町玉川屋酒店にて郵便貯金奨励の一方方法として去る十七日から同家に使へて来た小兒に對し金額に應じて貯金券を進呈しつつあつたが廿四日是れを取

赤井嶽で花見 石城郡赤井村第一納稅組合にて

### 信用録編纂

#### 吉村白水氏が

#### 信用録編纂

平町東北實業新聞社吉村白水君は「警城信用録」を編纂すべく材料蒐集に着手したが同著は警城地方に於ける各方面に知名の士を網羅し其資産や信用の調査結果を恰も掌上を指すが如く上録したものであつて同地方に於ける事業と人物を紹介する上に於て一大指針とも云ふべき良書として歡迎される事であらう

### 平窪村有殖林

平窪村にては此程村會を召集し滿場一致同村大字四ッ波字藤岡地内山林十五町七に對し殖林すべく決し廿七日郡衙より松崎林業技手を招聘し村長始め村會議員各行政區長、消防幹部、青年團幹部總出となり松苗木一萬本を移植したと

### 兎の耳

#### 列車から自宅へ話

#### 兎の耳

は來月一日赤井嶽に於て花見の宴を開催する由

赤井嶽で花見 石城郡赤井村第一納稅組合にて

### 自動車

#### 平窪村よて

#### 自動車

平町鎌田町自働車業菊地十次兵衛は去る廿七日午後五時頃石城郡平窪村大字下平窪小学校前道路に自動車

進行中自宅との通話も出来るやうにしたいと意氣込んで居る